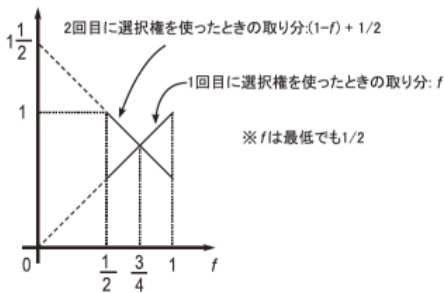


「プログラマのための論理パズル」正誤表（2014年2月5日）

- ▼マークは1刷→2刷での訂正箇所。
- ■マークは3刷→4刷での訂正箇所。
- ◆マークは5刷→6刷での訂正箇所。
- ▲マークは7刷→8刷での訂正箇所。

第I部 マインドゲーム

- ■[1] 甘いもの好き
p6、図1.1（※図1.1を次のように訂正します。）



- ◆[2] ビザンチン流ギャンブル
p10、4行目～7行目
 - 訂正前)
4回のうち少なくとも3回は教えてくれるというのだ。さらに加えて、あなたの賭けを聞いた後で、アドバイザーは紙の中身をあなたが不利になるように書き換えることができる。しかし、書き換えることで気まぐれで真実をいうアドバイザーの回答と矛盾してしまうようなことがあれば、書き換えることはできない。
 - 訂正後)
4回のうち少なくとも3回は教えてくれるというのだ。**それ以外の3人の嘘つきはどのような答を出すか分からない。真実であることもあるし、そうでない場合もある。**さらに加えて、あなたの賭けを聞いた後で、アドバイザーは紙の中身をあなたが不利になるように書き換えることができる。しかし、書き換えることで、**気まぐれで真実を言うアドバイザーが4回の賭けの結果1人もいなくなってしまうようなことがあれば、書き換えることはできない。**
- ■[9] インフルエンザの数学
p30、1行目～4行目
 - 訂正前)
このような政策を検討する一方、強制的に予防接種を受けさせることは実際には不可能だと政府は考えた。代わりに、政府は国民一人ひとりに、2回にわたって予防接種を受けなくてはならないよう薦めた。つまり、もし一度予防接種を拒否したら、次回は必ず受けなくてはならないということだ。
 - 訂正後)
このような政策が考えられる一方、実際にある国民に強制的に予防接種を受けさせることは不可能だと政府は考えた。代わりに今度は、政府は国民一人ひとりに、予防接種を受けるかどうかの選択肢を与えることにした。ただし、いったん予防接種を拒否したら、その後気が変わっても二度と予防接種を受けることはできない。
- ■[18] 法律の論理
p58、8行目（問題5の2行目）
 - 訂正前)
～、3,600人の患者がいる～
 - 訂正後)
～、2,600人の患者がいる～
- ■[20] フィードバックの比率
p65、冒頭（※p65の最初に下記の文章が加わります。）
 - 追加7行)
またFeedNoの場合では、「1行目は右上方向へ、2行目は左上方向へ」のようにあらかじめ移動する方向を定めておかなくてはならない。このやり方に従うと、同じ例において、行1から行3への2回のステップで、2回とも思いどおりの結果に進める場合（ $0.9 \times 0.9 = 0.81$ ）の確

率)と、2回とも指示どおりに進めなかった場合 ($0.1 \times 0.1 = 0.01$) の2通りの条件で目的値の行3列4にたどり着ける。つまり、FeedNoの時は $0.81 + 0.01 = 0.82$ の確率で行1列4から行3列4に行ける。これは、FeedYesを採った場合に比べ低い値である。

● ■[20] フィードバックの比率

p65、3行目

- 訂正前)
～、フィードバック比は $0.9/0.81$ となる。
- 訂正後)
～、フィードバック比は $0.9/0.82$ となる。

● ■[20] フィードバックの比率

p65、最終行 (※「ウォームアップ問題の解答」の最後に下記の文章が加わります。)

- 追加文章)
なお、 P_{good} は自分の意志どおりに進むことができる確率を意味するので、ここでは P_{good} は0.5以上であるとする。

● ▲第I部の解答「[8] 逃亡マネジメント」の解答

p104、6行目～8行目

- 訂正前)
これらステップをカウントしてみると、合計23ステップの移動のうち、警察は8回強制移動させていることとなる。8/23が最も効率良くできる (比率が低い) 方法である。
- 訂正後)
これらステップをカウントしてみると、列1から始まり列1に戻す繰り返しを考えると合計22ステップの移動のうち、警察は8回強制移動させていることとなる。この8/22が最も効率良くできる (比率が低い) 方法である。

※この訂正は、読者の小黒拓郎さんからの指摘による。

● ■第I部の解答「フラクタル生物学」の解答

p117、10行目と12行目 (問題2本文1行目、3行目)

- 訂正前)
クラス
- 訂正後)
クラスタ

● ■第I部の解答「[15] フラクタル生物学」の解答

p120、5行目

- 訂正前)
～、ネットワーク全体ではスイッチボードから～
- 訂正後)
～、ネットワーク全体ではスイッチボードから～

● ■第I部の解答「[18] 法律の論理」の解答

p125、問題3本文2行目

- 訂正前)
～、1,401-4,000の3,600人のグループ～
- 訂正後)
～、1,401-4,000の2,600人のグループ～

● ■第I部の解答「[15] そこ掘れ！」の解答

p147、下から2行目

- 訂正前)
～ 次に北に1つ進み、行2、列5の位置まで～
- 訂正後)
～ 次に北に1つ進み、行3、列5の位置まで～

● ■第I部の解答「[26] 嗜好でロマンス」の解答

p151、問題2本文8行目 (下から6行目)

- 訂正前)
例えば集合 $\{X, Y, Z\}$ U 集合 $\{Z, W\} =$ 集合 $\{Z, Y, Z, W\}$ である。

- 訂正後)
例えば集合{X, Y, Z} ∪ 集合{Z, W} = 集合{X, Y, Z, W}である。

第II部 パズルには何が隠されているか

- ▲[b] 都市計画

p165、14行目

- 訂正前)
さてここで、このパズルの制約条件を示そう。
- 訂正後)
さてここで、このパズルの7つの制約条件を示そう。

p166、冒頭の3項目からなる箇条書きの前に次の段落を追加

今回はこれら7つの制約条件を満たした上で、次の3つの設定に基づいて設計してほしい。

※この訂正は、読者の小黒拓郎さんからの指摘による問題点を解消するため、編集部判断で修正・追加したものです。

- ▼[g] 選り好みする貪欲

p186、12行目

- 訂正前)
(2)のパターンの左からの矢印は、'A'から'TG'に変換するのに、まず'T'を'A'で置き換えてから、次に'G'を挿入する2回の作業が必要であることを表している。
- 訂正後)
(2)のパターンの左からの矢印は、'A'から'TG'に変換するのに、まず'A'を'T'で置き換えてから、次に'G'を挿入する2回の作業が必要であることを表している。

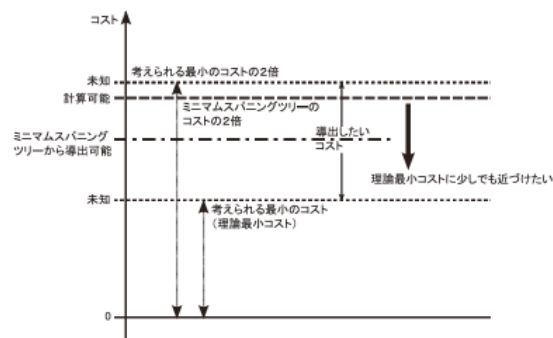
- ■[i] 再訪する巡回セールスマン

p191、本文12行目

- 訂正前)
三角不等式の性質は、町Xを出て町Yを経由し町Zを訪問する移動コストは、町Xから町Zに直接移動するコストより常に同じか低いということを示している。
- 訂正後)
三角不等式の性質は、町Xを出て町Yを経由し町Zを訪問する移動コストは、町Xから町Zに直接移動するコストより大きくなるか、よくても同じであることを表している。

- ■[i] 再訪する巡回セールスマン

p196、図i.7（※図i.7を次のように訂正します。）



- ▼第II部の解答「[d] 宝の在処をピクチャリング」の解答

p223、8行目

- 訂正前)
～交点周辺の矩形の中に設置方法以外も～
- 訂正後)
～交点周辺の矩形の中に設置する方法以外も～

- ▼第II部の解答「[d] 宝の在処をピクチャリング」の解答

p224、13行目

- 訂正前)
なお、38.1mとは、図p.7を参照してもらえれば分かるのとおり、～

○ 訂正後)

なお、38.1mとは、図p.6を参照してもらえれば分かるとおり、～

● ■ 第II部の解答「[o] 罠に惑わされず」の解答

p235、問題2本文2行目

○ 訂正前)

～もう一方のドアに挑戦したときの期待値は $-200 \times 1 + 400 \times 2 = +200$ となる。

○ 訂正後)

～もう一方のドアに挑戦したときの期待値は $-200 \times 1 + 400 \times 1 = +200$ となる。
